



テングチョウ号

冬の森たんけん

【活動報告1】

～冬ならではの森遊びや生き物探しをしながら冬の森を探検！～

12月12日(日) 9:00～14:00

小川裕子

この度、佐野さんからのご紹介で初めて家族で参加させて頂きました。植物の博士、キノコの博士、昆虫・水生生物の博士の皆様のあふれる知識によって、自分ではただの山歩きになるところが、様々な発見溢れる探検の旅に変わりました！

ユリの凜とした葉、ウラシマソウの赤いトウモロコシのような姿、色とりどりのキノコ。食べられるもの、リキュールにつけて大人の味いにできるもの、アオキの赤・緑の可愛い実の飛ばし方、野生のリユウノヒゲの青々とした実、フユイチゴのちょっと酸っぱくて甘い味など、子供たちにとって忘れられない体験になったと思います。

娘はビニール袋に宝物のようなキラキラとした森の恵みを集め、帰宅後に祖母に一生懸命説明していました。今度実をむいて、種を庭に植えてみたいと思います。息子は太い竹を三本担いで登っている大人の姿を最初は不思議に思っていたのですが、なんと休憩所で竹が立派な弓矢に変身し、大興奮。普段目に

テングチョウ (天狗蝶)

学名: *Libythea celtis*

北海道から南西諸島まで広く分布する小型のタテハチョウで、鼻先が長く尖っている事から天狗と名付けられた。

この鼻のような部分(パルピ(下唇鬚))という器官で、匂いなどを感じる触覚のような役割を果たす。

幼虫の食草はエノキやエゾエノキ等。成虫は6月～7月頃に発生し、真夏には一度休眠する。9月頃になると活動を再開し、成虫で越冬する。

侍従川では主に源流域や周辺の林で見られ、春先最も早く飛び始める蝶の一つである。

深沢大地



することのない道具に、興味津々で大喜びで遊んでいました。二人とも、朝比奈切通しの川では立派なテナガエビやヤゴを発見し、他にも何かいないかと靴が濡れるのも構わずに楽しんでいました。紅葉とそこへ差し込む日差しが美しく、その中で食べる昼食は普段よりも一層美味しく感じました。

子供たちは疲れがたまりつつも、最後まで自分で荷物を背負って歩ききったこと、一緒に参加してくれた2歳の可愛いお嬢さんの笑顔を引き出せたことに親として嬉しい思いでした。こういった体験は普段することが出来ず、世代を超えて色々な方々と交流させて頂き本当に貴重な体験だったと感謝しております。また次回、是非参加させて頂きたいと思っております、ありがとうございました。



生き物発見記録

12/24(金) タイミルセグロカモメ 野島海岸 (深沢)
本種はセグロカモメ(亜種セグロカモメ)とニシセグロカモメ(亜種ヒューグリカモメ)の交雑個体群とされる。
侍従川流域では初記録となる。



ヤマアカガエル 朝比奈市民の森にて

2/11(金) 1番手前の池に卵塊2腹 成体♂1匹

2/26(土) 1番手前の池に卵塊4腹 栗林の奥の池に1腹 手前の奥の深い池に成体2匹 (五月女)



2/27(日) キセキレイ

長島橋付近 (深沢)

ここ数年冬鳥として観察されるようになった。



12月25日(土) 10:00~15:00

初めての方大歓迎と周りにも声をかけ、9名の方が参加して下さいました。海の鳥と山の鳥、両方楽しめるフィールドで、1人1台双眼鏡を持って散策。最後は配布したリストや図鑑を使って見た鳥の復習。身近な鳥を観察する良い機会になったかなと思います。参加者に感想を頂いたので合わせて掲載します。

深沢大地

和田谷東 (小6) 22種類の鳥をみることができた。遠くに見える工場の上にとまっていたり、動き回ったりカメラで撮るのはむずかしい。双眼鏡の使い方や図鑑の特徴を丁寧に教えてもらえて勉強になった。ビンズイが初めて見れて嬉しかった。野島では他にもいろいろな鳥が見れるそうなのでまた行きたい。

長船和直 (小2) 色々な鳥が見られて楽しかったです。あと、カラスが魚を食べているのが見られて面白かったです。

長船哲史 (大人) 息子とその友人親子でお世話になりました。基礎的なことから丁寧に教えてもらえて、とても分かりやすかったです。子供達も良い経験になったと思います。途中集中力が切れ気味なところもあったけど、二人とも楽しかったようです。個人的にも、最近はなかなか鳥を見に行く機会がなかったので、とても楽しかったです。いつも平潟湾沿いお通っているのに、カイツブリがいるとは知りませんでした。カモも全然知らなかったけど、分かるようになると楽しいですね。仕事帰りにでも、また双眼鏡下げて遊びに行こうかなと思います。ありがとうございました。



観察風景



カンムリカイツブリ



スズガモ

★LINEグループ「ふるさと侍従川に親しむ会」参加募集！

侍従会の公式LINEグループができました！最新の行事案内や、侍従川流域の生き物がチェックできます。

参加希望の方は、深沢：daichan.orca★gmail.com (★を@に置き換えてください) まで連絡ください。

12月定例クリーンアップ

【活動報告3】

12月26日(日) 10:00~11:00 晴れ

飯村優介

実施内容：六浦2号橋～大道橋(土嚢袋3袋、ホイール)

参加者：沖田正孝、今井康祥、今井翔太(高1)、金子英司、深沢大地、小池碧馬、五月女陽斗(中1)、飯村優介(計8名)

気づいた点：通常のクリーンアップに加えて、大道溪谷本流への流れを復元させる応急手当を行った。



回収したゴミ

1月定例クリーンアップ

【活動報告4】

1月23日(日) 10:00~11:00 曇り

飯村優介

実施内容：六浦2号橋～大道橋(土嚢袋2袋)

参加者：沖田正孝、小野田勇介、深沢大地、飯村優介(計4名)

気づいた点：参加者は少なく、ゴミは多め。玄関マットが捨てられていました。



回収したゴミ

夜の干潟観察会 in 野島公園

【活動報告5】

1月29日(土) 19:00~21:30

金子英司

1月29日に野島公園にて夜の干潟観察会を実施しました。

【観察できた生き物】

【魚類】 ニクハゼ、ハゼ科の一種、マハゼ(目視)、種不明稚魚(1)

【甲殻類】 イソガニ、ヒライソガニ、タカノケフサイソガニ、ワタリガニ科の一種、ヨツハモガニ、ユビナガホンヤドカリ、ケアシホンヤドカリ、スジエビモドキ、ユビナガスジエビ、イソスジエビ、モエビ科の一種、テッポウエビ科の一種、クルマエビ科の一種、エビジャコ属の一種、ヨコエビの仲間、ワレカラの仲間

【貝類】 ケハダヒザラガイ、キサゴ、スガイ、アカニシ、イボニシ、ハツユキダカラ(垂成貝・死殻)、マガキ、バカガイ、アサリ、マテガイ、ブドウガイ、キセワタガイ

【刺胞】 カブトクラゲ、タテジマイソギンチャク、ウミサボテン

【多毛】 ゴカイの仲間(2種類)



キセワタガイ



ウミサボテン

[棘皮] モミジガイ、イトマキヒトデ、マナマコ

アマモ場が年々縮小傾向にあり、海のゆりかご特有の生き物をほとんど見る事ができなかったのは残念ですが、それでも短い時間の中で多くの生き物を観察できたと思います。

【感想】有井味弥子 胴長を持っていないので、浅瀬だけではあまり取れないかなと心配していましたが、小1時間の間にほぼ子供たちだけで、エビ、カニ、ヤドカリ、貝に魚まで沢山捕まえる事ができました。

自分で捕まえた生き物の名前や、野島独特の生態などの説明を詳しく聞けて、子供たちもとても喜んでいましたし、大人も大変興味深かったです。

野島にアマモが生えていたのも知らなかったのですが、すっかり減少してしまっていたと聞いて、こんな身近なところで知らない間に環境が悪化している事を知り、悲しくなりました。ひとりでできる事は限られていますが、少しでも温暖化や環境汚染が進まないように、よりいっそう気をつけて生活しようと思います。

専門知識がないと、夜に干潟を観察しようとは思いつかないので、とても良い体験ができました。

また機会があれば他のイベントにも参加したいと思います。ありがとうございました。



観察した貝類



観察会の様子

朝夷奈の森通信 ~森の忍者より~ 飯村優介

昨年晩秋の秋の森探検では、切り株にヒラタケがありました。

源流の森の先には胞子を送り出す大生育地があります。三浦半島の奥の山々の深い谷筋や急斜面の大倒木に生育する。

エノキ、ケヤキ、イロハカエデなどの灰白色の肌の木。大木となり、倒れた後、分解して土にかえしていくキノコのひとつだ。冬キノコで菌糸はマイナス20℃も耐えるという。寒い季節のキノコで高温の季節はお休みする。

また南岸低気圧も冬キノコを成長させる主役である。



ヒラタケ



1/6の十二所頂上

ネイチャークラフト教室 ～つるでカゴ作り～

1 / 30 (日)

【活動報告6】

寺尾勝廣

コロナ禍を避けての屋外つるかご作りの今日は幸い風もなく、活動しやすい予感。集まる子ども達が多く、つるが不足したらどうしようかと不安もよぎった朝でした。

ちとせ園（大道一丁目緑地）で参加者を待っている私の元に現れた第一号は大ちゃんでした。それから20分・・・誰も来ない・・・。がっかりしていたところ、カワセミ君が遊びに来てくれました。5分以上もゆっくりと川面を見ていましたが小魚を捕食することなく去って行きました。ここまでゆっくりと眺めることができたのは初めての経験でした。

集合時間から30分が経過したため解散としました。私は、朝比奈の山に入ってつるを採取して自宅でかごを作ってみました。まずまずのできだったので記事にさせてもらいました。

コロナ開けには皆さんと一緒につるかごを作りたいです。



撮影：深沢大地

ウィルスは我々の油断をついて侵入してきます。皆さんは油断せずに断腸の思いで参加を断念したのでしょうか。皆様の心がけを手本に自分も油断せぬように過ごしていきたいと思います。春のイベントでお会いしましょう。

2月定例クリーンアップ

2月27日(日) 10:00～11:30 晴れ

【活動報告7】

飯村優介

実施内容：六浦2号橋～大道橋上（土嚢袋3袋）

参加者：山田陽治、小野田勇介、金子英司、深沢大地、貞廣宇保(中3)、五月女陽斗(中1)、飯村優介(計7名)

気づいた点：参加者は少なめでした。



北の国から ～北海道で身近な絶滅危惧種オジロワシ～ 瀧本宏昭

2021年3月5日、1月からたびたび降る大雪で記録的な積雪がある中、千歳川中流沿いの森に野鳥を見に行ってきました。車道沿いには150cmぐらいの高さの雪が積もっていたため、その壁をよじ登って森の中へ。



ヒザくらいまで埋もれながら進み、川沿いで見上げてみると、30mぐらいの距離にオジロワシがとまっていました。オジロワシは非常に警戒心が強いので、この距離まで近づくことが難しい鳥です。翼を広げると180cmほどの大きさがあるため、迫力がある距離感です。最初あせってシャッターを押していましたが、こちらの姿は見えにくかったようで、私が立ち去るまでの約30分間ずっと観察できました。オジロワシを観察していると、首をかしげるように空を見たり、川にいたマガモの方を見たり。もしかしたら、警戒しながら捕食対象の魚やカモを狙っていたのかもしれませんが。観察後、私が立ち去ろうとすると、こちらに気づいたようで、オジロワシも飛び立ちました。



お邪魔してごめんなさいと思っていると、飛び立った先で「キャッキャッキャ」と2羽のオジロワシの音が。車道に戻ってみると、2羽で並んでいました。オジロワシは3月～4月に産卵をするので、近くで子育ての準備をしているのかもしれませんが。町から近い場所で絶滅危惧種の鳥が暮らしていることを改めて感心しつつ、私は家路につくのでした。



QRコードのリンク先でオジロワシの動画をご覧ください。



侍従川定例調査報告 学生部

2022年2月27日 (日)

10:00~11:30〔クリーンアップ調査〕 晴れ

【調査範囲】 六浦2号橋~大道橋

【確認した生物】 チチブ、ビリング、シマヨシノボリ、テナガエビ、ミズレヌマエビ、ヤマサナエ(幼虫)、ハグロトンボ(幼虫)、ガガンボsp(幼虫)、ミシシippアカミミガメ、カルガモ

【備考】 ハゼの卵塊調査も実施したが確認できたのは大道東橋でのスミウキゴリの1卵塊のみだった。



ハゼの卵塊調査の様子

2021年~2022年 学生部冬季水鳥調査報告

<調査範囲> 野島海岸(前浜)及び野島水路 ※図1①, ②

【図1】



<調査対象> 水辺に依存する鳥類

<調査方法> 30分~1時間程で回り、双眼鏡とカウンターを用いて個体数を計測。

対象と距離が離れている場合は同定にフィールドスコープやデジタルカメラも使用した。

<日程>

11/7, 11/11, 11/15, 11/20, 11/26, 11/30

12/5, 12/12, 12/18, 12/24, 12/29

1/4, 1/7, 1/12, 1/15, 1/18, 1/21, 1/26, 1/29

2/2, 2/5, 2/8, 2/11, 2/21, 2/24, 2/27 (計26回)

<参加者> 深沢大地, 金子英司, 貞廣宇保

<調査結果>

・記録された種数は25種、その内本調査初記録は2種であった。 ※表1

【表1】

種数	和名	11/7	11/11	11/15	11/20	11/26	11/30	12/5	12/12	12/18	12/24	12/29	1/4	1/7
1	ヒドリガモ	2	11	6	30		8	8	17	11	15	5	3	
2	カルガモ													
3	オナガガモ											14		4
4	ホシハジロ					1	7	5	9	25		6		
5	キンクロハジロ				2	3	1	2	5	1		3		
6	スズガモ			5	14	41	79	85	47	220	113	342	294	323
7	ホオジロガモ												3	
8	ウミアイサ				1		1	1						
9	カイツブリ	1												
10	アカエリカイツブリ								1	1				1
11	カンムリカイツブリ				3		9	16	11	37	32	17	9	17
12	ハジロカイツブリ				2	1		2		3			1	
13	カワウ	19	2	2	3			3	1	9		7	5	2
14	ウミウ												3	
15	アオサギ	1			3		1			1				
16	ダイサギ													
17	コサギ													
18	オオバン	25	40	124	95	56	37	41	13	33	12	18	53	12
19	イソシギ	1			2	1			1	1				
20	ユリカモメ			1	4	83				15			3	
21	ウミネコ		5											
22	セグロカモメ				4	1				5	1		1	
23	オオセグロカモメ				1								2	1
24	ミサゴ				1	1			2	1		1		
25	ハクセキレイ		1						1	7			1	

種数	和名	1/12	1/15	1/18	1/21	1/26	1/29	2/2	2/5	2/8	2/11	2/21	2/24	2/27
1	ヒドリガモ	1	12	4		13	40	16	2	14	27	5	19	42
2	カルガモ												2	
3	オナガガモ	5	2	4	4	7	12	6	7	15	5	3	4	
4	ホシハジロ	4	4			2		1	2					
5	キンクロハジロ	1		6										3
6	スズガモ	164	390	276	92	376	183	384	363	216	390	402	334	327
7	ホオジロガモ							2						
8	ウミアイサ													
9	カイツブリ													
10	アカエリカイツブリ													
11	カンムリカイツブリ	13	6	12	5	0	4	4	1		1	2	1	1
12	ハジロカイツブリ				1			1				1		
13	カワウ		6	7	1	3				3		2	2	
14	ウミウ		4	1		3							1	
15	アオサギ	1	3				1	1	1	1		1	1	
16	ダイサギ									1		1		
17	コサギ										1			
18	オオバン	103	122	180	39	69	181	127	69	90	74	120	115	177
19	イソシギ		1	1						1	1	1		
20	ユリカモメ	10	11	5	3	5	6	5	2		12		1	
21	ウミネコ		2											
22	セグロカモメ		4						1		2		1	
23	オオセグロカモメ	1						1			1			
24	ミサゴ		2											
25	ハクセキレイ		5	3		2		2		2	1	2		3

- ・初記録となったホオジロガモとアカエリカイツブリは、どちらも東京湾に少数が飛来する種であり、共に潜水して魚類や甲殻類などを食べる。

両種とも期間を空けて複数回観察された事から、野島海岸やその周辺海域で越冬したものであると思われる。

- ・亜種チュウダイサギは秋に行った調査での初記録に続き、2回記録された。
- ・ウミウは平潟湾では稀な冬鳥として観察されるが、同時に3~4個体記録されたのは初めてである。
- ・11/11の調査でウミネコが5個体記録された。

本種は平潟湾では稀に観察されるが、安定して見られるものでは無く、生態についてはよく分かっていない。

野島公園と海の公園の間に位置する金沢漁港に降り、漁船と共に行動しているのではないかと推測しているが、金沢漁港は一般人の立ち入りが禁止されており調査は難しい。

<注目種3種の飛来数推移について>

- ・スズガモ, オオバン, カンムリカイツブリの3種は、2016年から本格的に開始した本調査で特に注目している種である。 ※表2, グラフ1

【表2】

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
スズガモ	479	1016	669	552	435	402
オオバン	221	301	334	102	110	181
カンムリカイツブリ	9	3	1	4	19	32

【グラフ1】



- ・スズガモは2010年代からは400~600羽程が野島海岸で越冬するが、2017年の当たり年を境に少しずつ減少している。
- ・オオバンは2010年頃の初認から数年間で爆発的に数を増やし、2018年には334個体が記録されたが、2019年~2021年では少し数が落ち着いたように見える。野島海岸以外にも、平潟湾流入河川全ての河口域~下流域、海の公園等各所で見られ、平潟湾全体の個体数は今年度も500~550羽程と思われる。
- ・カンムリカイツブリは2000年代後半から稀に見られるようになり、2010年台前半から少数が安定して飛来するようになった。2015年頃からやや数が増え、2018年は1羽のみであったが、近年また徐々に数を増やしており、数値で並べてみるとその変化がよく分かる。
- ・今後も注目して観察していきたい。

<侍従川流域調査>

- ・野島海岸、野島水路以外の範囲(※図1③~⑥)も含めた例年通りの調査を11/20, 12/18, 1/15に行った。
- ・範囲③にてカイツブリが4個体記録された。1羽は夏羽であった。
- ・近年侍従川中流域での観察例があるキセキレイとイソシギは今回の調査では確認されなかった。
- ・近年侍従川で再び見られるようになってきたゴイサギは、今年度は確認されなかった。
- ・範囲④関東学院大学前でホシハジロが記録された(11/20,21羽)。調査時以外でも何度か観察しており20羽前後が滞在していた。

昨年まではこの区間ではほとんど見られなかったが、河川工事等が行われていなかった事と、今季は神奈川県東部で全体的に本種の飛来数が多かった事が要因と思われる。

<水鳥以外の種>

- ・1/7にビンズイが3個体、範囲①で確認された。本種は松林に生息する冬鳥で、海の公園では観察した事があったが、野島では初認である。12月末から10羽程の群れが野島公園内にいるようで、本調査時以外にも何度か観察された。今まで観察例の無い逗子市池子等でも観察しており、飛来数の多い所謂当たり年だったようだ。
- ・1/29にモズ、2/8,2/24,2/27にツグミ2/27にカワラヒワ(2羽)がそれぞれ範囲①で確認された。



初記録のアカエリカイツブリ



こちらも初記録のホオジロガモ

事務局だより

◆4月～6月の活動予定

☆定例クリーンアップ 4/24 (日)、5/22 (日)、6/26 (日)

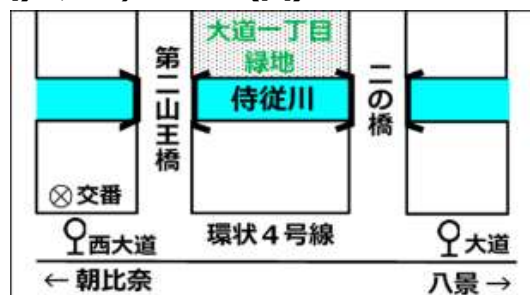
10時～11時 大道一丁目緑地 (ちとせ園) 集合

※雨天中止

持ち物：川に入れる格好、タオル、軍手(必要な人)、

網(使いたい人…貸出あり)、着替え(心配な人)

※川の上からの参加でも構いません



令和4年8月から横浜市水辺愛護会をふるさと侍従川に親しむ会が委託、業務運営する予定です。水辺愛護会の清掃等活動範囲が大道橋より上流の横浜市管理域なのに伴い、毎月第四日曜日の侍従川定例クリーンアップの活動範囲が六浦2号橋から里野橋になります。

活動範囲は当日の天候や参加人数によって変わることがあります。その時は、リーダーの指示に従っていただくよう皆様にはご協力よろしくお願いします。

代表 山田陽治

★4/3 (日) 春の野草摘みを楽しもう

・大道一丁目緑地 (ちとせ園) 9:30集合 解散 (大道一丁目緑地) 14時30分頃

・4月2日 (土) までにメールにて**要申込み**(材料準備の為)※雨天中止

【申込先】非会員の方は緊急連絡先 (雨天中止連絡アドレス) を記入の上、info★jijyukai.sakura.ne.jp (★を@に置き換えてください) 担当の寺尾までご連絡ください。

◆野草調理用に準備に向けて、参加者人数を把握したいので、会員の方も申し込みをお願いします。

・参加費：会員無料、非会員300円

・活動場所：午前→朝比奈町で野草摘み 午後→大道一丁目緑地 (ちとせ園) で野草料理試食 (天ぷらのみ)

・持ち物：参加費 (非会員)、山歩き出来る格好、摘んだ野草を入れる袋 (レジ袋など)、タオル、軍手、レジャーシート (必要な人)、長靴 (持って来れる人)、お昼ご飯 (買い弁可)、箸、器、マスク、マスク予備、除菌対策、その他

※新型コロナウイルスの状況を考慮し、当日朝検温していただき、平熱より高い方や倦怠感など普段に比べ違和感を感じる方は参加をご遠慮ください。

また、開催日前の二週間以内に①～③に該当する方はご遠慮いただく場合があります。

①濃厚接触者の判定を受けた方 ②家族に発症者のいた方 ③職場に発症者がいた方

■学生部の活動

☆定例調査 3/27 (日) 上流、5/22 (日) 下流、6/26 (日) 上流

定例クリーンアップ後の午後に実施 ※雨天中止

[時間] 13:00~16:00頃 [内容] 下流域の生物個体数調査

[集合] 13:00に大道一丁目緑地(ちとせ園)

[対象] どなたでも

[持ち物] 水に入れる格好、網、バケツ、飲み物、着替え(必要な人)、その他観察や採集に使いたい物

☆バチ抜け観察会in侍従川

“バチ抜け”とは普段は川底に生息するバチ(ゴカイの仲間)が産卵の為に集団で水面に上がってくる現象です。3月~4月頃の日没時刻と大潮の満潮が重なるタイミングでしか見る事の出来ない幻想的な光景を観察しましょう!

[日時] 4月3日(日) 17:00~19:00頃

[集合] 17:00 六浦駅 西口階段下(オリジン弁当前)

[持ち物] 防寒着、懐中電灯、その他

[留意点] ・**申し込み不要**

- ・夜間街中での活動になります。近隣の迷惑にならないよう注意しましょう。
- ・道路を歩いて観察します。車には十分注意しましょう。
- ・ライトで川以外(近隣住宅等)を照らさないよう注意しましょう。
- ・小学生以下は保護者同伴、中高生は保護者の許可の元参加してください。
- ・当日体調の優れない方は参加ご遠慮ください。

※雨天中止(中止の場合当日15時までにメーリングリスト、LINEにて連絡します。)

[問合せ] daichan.orca@gmail.com (★を@に置き換えてください)

080-6714-2000(深沢)



☆新入歓迎遠足in森戸川

新しく学生部に入る新中学一年生を迎え、春の森戸川を海から源流まで生き物を観察しながら歩きます!

[日時] 4月9日(土) 9:00~16:00頃

[集合] 9:00 JR逗子駅 改札前 [解散] 16:00頃 逗子・葉山駅

[活動範囲] 森戸海岸~森戸川源流域

[持ち物] 川の中を歩ける格好、昼食、飲み物、バス代(400円)、その他

※荷物は全て持って歩きます

[参加対象] 中学生以上

※**要申し込み** 氏名、学年、緊急連絡先を記載したメールをdaichan.orca★gmail.com

(★を@に置き換えてください) (深沢)までお願いします。

※雨天中止 (中止の場合当日7時までにメーリングリスト、LINEにて連絡します。)

・当日体調の優れない方は参加ご遠慮下さい。

[問合せ] daichan.orca★gmail.com (★を@に置き換えてください)

080-6714-2000(深沢)

☆春の里山観察会

様々な生き物が動き出す春の里山を、昆虫や爬虫類を中心に観察しながら歩きましょう！

[日時] **4月17日(日)** 10時～15時頃

[集合] 10時大道一丁目緑地 (ちとせ園)

[活動場所] 朝比奈北市民の森・侍従川源流域など

[参加対象] どなたでも **※申し込み不要**

[持ち物] 歩きやすい格好 (長袖長ズボン推奨)、
昼食、飲み物、虫網、その他

※雨天中止 (中止の場合当日8時までにメーリング
リスト、LINEにて連絡します。)

・当日体調の優れない方は参加ご遠慮下さい

[問合せ] daichan.orca★gmail.com (★を@に置き換えてください)

080-6714-2000(深沢)



去年の春の様子

☆干潟の野鳥観察会in野島

春は鳥達の渡りの時期！

平潟湾にもオーストラリアやインドネシア等で冬を越し、極東ロシアやアラスカ等で繁殖するシギやチドリの仲間が立ち寄ります。

[日時] **4月24日(日)** 15時～18時頃

[集合] 15時 野島公園駅改札 [解散] 18時頃 現地

[持ち物] 歩きやすい格好、双眼鏡(多少の貸出あり)、野鳥図鑑(持っている方)、その他

[参加対象] どなたでも **※申し込み不要**

[留意点] ・道路を歩いての観察になります、十分注意しましょう。

・鳥を驚かさないう静かに観察しましょう。

・当日体調の優れない方は参加ご遠慮下さい。

※雨天中止 (中止の場合当日13時までにメーリングリスト、LINEにて連絡します。)

[問合せ] daichan.orca★gmail.com (★を@に置き換えてください)

080-6714-2000(深沢)

☆干潟の生き物観察会 in 野島 昼編

4～9月の夏季は日中、潮が良く引くため潮干狩り等にもってこいです。特に、5月は暑すぎず、寒すぎず快適に海辺で過ごせる時期と言えるかもしれません。そんな5月に潮干狩りをしながら干潟の生き物を観察しませんか？

[日時] **5月15日(日)** 10:00～14:00

[内容] 潮干狩りをしながら干潟の生き物を観察します。お昼には採れたアサリ等の試食会も実施予定です！

[集合] 10:00に乙舳海岸(野島公園前浜)

[対象] どなたでも **※申し込み不要**

[持ち物] 海に入れる格好、網、バケツ、昼食(軽め)、参加費(会員:300円、非会員:1000円)、着替え、その他潮干狩りや生き物観察に使いたい物

[留意点] ※雨天中止(中止の場合当日8時までにメーリングリスト、LINEにて連絡します。)

※当日少しでも体調に不安がある方の参加はご遠慮願います。

※更衣室はありません。着替えタオル等を持って来ることをお勧めします。

※調理の際は火を使います。火傷等十分注意してください。

※幅15cmを超える貝採り器具の使用はできません。

☆クワガタ観察会 in 朝比奈

侍従川周辺の地域では夏本番前の6月～7月にかけてクワガタが活発に活動します。今回はこのクワガタを含め、夜の山で見られる昆虫の観察をしたいと考えています。

[日時] **6月5日(日)** 19:00～21:00

[内容] 朝比奈市民の森 その他での昆虫観察

※活動場所はクワガタが多産な地域ではありません。

観察のため一時的な採集は構いませんが持って帰らないでください。

[集合] 19:00に大道中学校正門前

[対象] どなたでも **※申し込み不要**

※小学生以下は必ず保護者同伴で参加してください。

[持ち物] 懐中電灯、飲み物、歩きやすい靴、その他観察等に使いたい物(カメラ、捕虫網等)

[留意点] ※山道は危険を伴います。引率者の指示を守って行動するようお願いいたします。

※危険な生物(ハチ等)と出会う事が有ります。その際は引率者の指示に従い行動する様にしてください。

※懐中電灯で民家を照らさないで下さい。

※夜なので、大きな声で話したり騒いだりしないようお願いします。

※観察会終了後は速やかに帰宅しましょう。

※カメラ等含め所持品の管理は自己責任でお願いします。

※一部藪や下草が多い場所を通ります。長袖・長ズボンの服装を推奨します（自己判断でお願いいたします。）。

※山道に慣れてない方は両手が空くヘッドライト等がオススメです。荷物はリュック等なるべく1つにまとめる事を推奨します。

※比較的長い距離を歩きます、水分補給など各自判断でとってください。

※道路を歩く事も有ります、十分注意して活動して下さい。

※雨天中止（中止の場合当日16時までにメーリングリスト、LINEにて連絡します。）

☆大道溪谷ゲンジボタル頭数調査

[実施期間] **5月25日(水)～7月上旬(予定)**の毎週水曜日と土曜日

※雨天中止（中止の場合当日18時までにメーリングリスト、LINEにて連絡します。）

[時間] 19:00～21:00 [集合解散] 大道中学校 体育館前

[参加対象] どなたでも **※申し込み不要**

[留意点] ・小学生以下は保護者同伴での参加をお願いします

- ・中学生以上は保護者の承諾を得ての参加をお願いします。
- ・夜間の調査になるので、大きな声で話したり騒いだりしないようお願いします
- ・調査終了後は速やかに帰宅しましょう
- ・マスク着用等感染対策は各自お願い致します

※当日体調の優れない方は参加ご遠慮ください

[問合せ] **daichan.orca★gmail.com** (★を@に置き換えてください) (深沢)

<< 新型コロナウイルスの対応について >>

4月以降も例年どおりの活動を予定していますが、状況により変更・中止となることがあるので、その場合は、ホームページ及びメーリングリストでお知らせします。ご了承ください。

活動参加の際は、マスク着用等感染対策は各自でお願いします。

侍従会のホームページはこちら

<https://jijyukai.sakura.ne.jp/wp/>

これまでの会報は全てホームページで見ることが出来ます。



≪編集後記≫ コロナ禍は3年目に入りました。感染対策は慣れてきた感じですが、油断せずに活動していきたいと思います。皆さんご協力をお願いします。(MK)